



伊香保まつり

毎年 9月18日19日20日

伊香保温泉では、毎年9月18日から20日に伊香保まつりが開催されます。
伊香保温泉ゆかりの明治の文豪、徳富蘆花の命日である蘆花祭(9月18日)と伊香保神社の
例人祭(9月19日・20日)を総じて「伊香保まつり」として観まれてきました。
激しい祭りとして知られ、神輿が石段を転げ落ちるなど、迫力があり見応えのある祭りです。
初秋の伊香保温泉に色を添える3日間となっています。



18日

十八日の蘆花祭は、徳富蘆花の追悼式典や温泉の湯汲み神事が厳かに行われ、徳富蘆花の偉業や自然の恵である温泉に感謝する行事が行われます。



▲湯汲み神事



▼蘆花記念会館



▲追悼茶会



▲徳富蘆花像



交通アクセス



お車で…
関越自動車道渋川伊香保インターより 20 分



バスで…
JR 渋川駅より 30 分

群馬県のマスコット
「くんまちゃん」
26-100554



19日
20日

十九日は、奉賛会が伊香保神社の荘厳華麗な本神輿を町内渡御し石段街を担ぎ上げ、伊香保神社に奉納します。重さ数百キロにもなる本神輿を担ぎ、伊香保神社を目指して石段街を登る姿は威風堂々と見応え充分です。



▲石段街を渡御する本神輿



▲伊香保祭囃子(ばやし)保存会



▲輪おどり



▲樽みこしと若連衆

そして19日・20日は、伊香保まつりの特徴でもある樽みこしが石段街をもみ上げ、祭りを一層にぎやかにします。樽みこしは、木の丸太棒を2本ずつ十字に組み、その中心に化粧を施した酒樽を乗せて出来ている神輿です。担ぎ手は酒樽を背に腰の位置で2本の棒を持ち、酒樽を360度人が囲んだ形でもみ合います。毎年、「若連」と呼ばれる町内の20代・30代の男性を中心とした若者の組織によって手作りされています。子供から大人まで十一基が一斉に急な石段街を樽みこしでもみあいながら登る姿は見事で、中には勢いあまって石段を転げ落ちることもしばしばあり、正に興奮のつぼと言えます。

また、その他にも伊香保まつり期間中には、伊香保祭ばやし保存会による子供ばやしや、旅館の女将さん達や町内のご夫人方による輪踊りも行われ、初秋の伊香保温泉に色を添える3日間となっています。

365段の石段を神輿が練り歩く
伊香保まつり・蘆花祭
〔群馬県渋川市伊香保町〕

◆開催期間

伊香保まつり 9月18～20日

蘆花祭 9月18日

◆場所

群馬県渋川市伊香保町内

伊香保温泉街内



伊香保温泉は、西暦600年前後の榛名山二ツ岳の噴火で温泉の湧出が始まったとされています。子宝の湯として知られる「こがね ゆ黄金の湯」美肌の湯として知られる「しろかね ゆ白銀の湯」の2種類有り全国的に知られています。

また、古くから多くの文人に愛され万葉集や古今集にも読まれてきた歴史を持ち、明治に入ってから、文豪徳富蘆花の代表作『ほととぎす不如帰』の舞台となったことでも有名です。

伊香保まつりは、伊香保温泉のシンボル石段街の頂上に鎮座し、伊香保温泉を見守り続けてきた伊香保神社の例大祭です。元来9月19日・20日で行われていましたが、戦後、徳富蘆花の命日である9月18日を蘆花祭として加え、現在の伊香保まつりの日程が定着しました。

伊香保まつり実行委員会

お問い合わせ TEL.0279-72-3588 FAX.0279-72-3590
〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保136-9



「いしだんくん」
伊香保温泉のゆるキャラ